

## ICT技術活用工事 現地見学会

【秋田河川国道事務所】

## ～ 雄物川激甚災害対策特別緊急事業 ～

## ◆現場見学会の目的

・雄物川激甚災害対策特別緊急事業について、今しか見ることが出来ない最盛期の工事現場を地域住民の方にご覧いただき河川整備の必要性について理解を深めて頂く。  
 （秋田河川国道事務所では、同様の見学会を定期的で開催。）

・堤防整備においては、早期の治水安全度向上に向け、施工のスピードアップを図る必要があることから、建設現場における生産性の向上を図るため、「i-Construction」の一つであるICTを積極的に活用している。

・今回の現地見学会では、本事業の概要を説明するほか、最新のICT技術の紹介とともに、実際にICT建機に見て、触れて、体感していただく。（体験型の現地見学会）

## ◆見学会開催で工夫した点

## ①対象者募集

- ・地域住民（激特事業対象住民）  
 ⇒地元自治会長に説明会場の了解を得るとともに、チラシを作成し各自治会に配布、参加者を募集
- ・報道機関  
 ⇒「秋田地域メディア連携協議会」を活用し、関係者（17社）に案内

## ◆見学会参加者の声

- ・このような機会を設けてくれてありがたい。
- ・毎日道路から見えていたが、現場が見られただけでなく実際に体感できて貴重な体験をさせてもらった。
- ・操縦が簡単で驚いた。

## ◆現場見学会の開催状況

日時 令和2年11月28（土）10:00～11:50

場所 秋田市雄和（雄物川下流左手子地区築堤工事箇所ほか）

参加者 約27名

## 【左手子交流館】

・事業概要説明／ICT技術活用工事の説明



▲職員による説明状況▲

## 【左手子地区築堤工事箇所】

・ICT活用工事の披露  
 バックホウ操作体験、UAV操縦体験、ブルドーザ試乗ほか



▲バックホウ操作体験▲



▲UAV操縦体験

▲ブルドーザ試乗

### 点検技術支援活用講習会

- 目的: 道路メンテナンス会議の自治体支援の一環として、点検支援技術に対する理解を深め、各道路管理者の定期点検に活用してもらうことを目的に講習会を開催
- 日時: 令和2年11月10日(火) 13:00~16:00
- 場所: 【座学】男鹿市民文化会館  
【現地講習】男鹿大橋(国道101号)
- 参加者: 県内の点検業務発注者等(男鹿市長、市町村9名、秋田県4名、市町村長寿命化連絡協議会等4名、コンサルタント18名、県内直轄事務所12名、東北地整1名)
- 講習内容: 【座学】点検支援技術の活用に関する学習  
【現地講習】  
点検支援技術性能カタログから2技術、その他1技術を講習
  - ・全方向用衝突回避センサーを有する小型ドローン技術
  - ・コンクリートビュー  
(近赤外分光によるコンクリート劣化診断システム)
  - ・Dr. Bridge  
(AI技術を活用した橋梁診断支援システム)



#### ■ 男鹿市長のコメント

今後は、限りある予算の中で、予防保全型の老朽化対策が確実に進むよう新技術を活用し、確実な施設管理を進めていきたい



▲座学状況



▲衝突回避ドローンの説明



▲ドローンからの映像を確認しながら操作



▲コンクリートビューによる塩分測定



▲AIによる診断支援